

9月25日（木）

サンクトペテルブルグ市表敬訪問

サンクトペテルブルグ市はロシア西部、フィンランド湾にそそぐネヴァ川河口に位置し、河口を埋め立てて整備されたヨーロッパ様式の建物が並ぶ「北のベネチア」とも呼ばれるロシア第2の都市である。

サンクトペテルブルグ市庁舎は、スモーリヌイと呼ばれ、かつて造船用のスモラ（松脂）の工場倉庫があったことに由来する。

市庁舎玄関にて厳しいセキュリティチェックを受けた後、ポルタフチェンコ知事を表敬訪問した。ポルタフチェンコ知事、村上副市長の挨拶の後、ビジネス交流やサンクトペテルブルグの都市状況などについて意見交換を行った。

【ポルタフチェンコ知事 挨拶要旨】

大阪市代表团並びに大阪市会代表団の皆様の訪問を心より歓迎する。

7月にはマルコフ副知事をはじめとするサンクトペテルブルグ市の代表团が大阪を訪問した。大阪市のご協力に感謝する。

今回、大阪市立大学とサンクトペテルブルグ国立大学が協定書の更新を行う。両大学の交流が深まることにより文化的な交流も深まっていくだろう。サンクトペテルブルグ市民の日本文化に対する関心は高い。互いの市民生活の質を高めていけるよう、今後とも経済、文化等様々な分野でお互いに協力していきたい。

サンクトペテルブルグに進出している日本企業が既に何社かある。今回の交流では、経済的な交流も予定されているということなので、互いの協力関係を深めるよき機会になることを願う。

【村上副市長 挨拶要旨】

ポルタフチェンコ知事にはご多忙の中、このように温かくお迎えいただき感謝する。

本年7月には、マルコフ副知事が来阪され、水道局、建設局を交えて意見交換させていただいた。このたびは私ども行政代表团が、大阪市会代表団とともに美しいサンクトペテルブルグのまちを訪問することができ、知事にお会いできたことを大変光栄に思う。

今回は一般財団法人都市技術センター、大阪市立大学、大阪観光局、さらには優れた技術を有する大阪の企業である積水化学工業株式会社、株式会社フジキンも同行し、官民連携の訪問団となっている。

滞在中は、サンクトペテルブルグ上下水道公社において大阪プロモーションセミナーを共催させていただき、また大阪観光プロモーションセミナーもあわせて開催し、皆様に大阪・関西の魅力を発信させていただく予定である。

両市は1979年の姉妹都市提携以来、幅広い分野において活発な交流を展開してきた。今後とも、両市がお互いの施策から学びあい、相互発展していけるような友好協力関係をさらに発展していきたい。

意見交換の後、村上副市長とマルコフ副知事との間で、本日の表敬訪問・意見交換において、近い将来における投資・貿易、共同ビジネスプロジェクト、上下水道、観光、見本市の各分野における協力拡大について関心が示された旨の議事録の調印式が行われ、表敬訪問は終了した。

最後に、職員の案内でスモーリヌィを視察し、市庁舎をあとにした。



表敬・意見交換の様子



村上副市長とマルコフ副知事による議事録調印

サンクトペテルブルグ市主催昼食会

市庁舎よりレストラン「Staraya Tamozhana」に場所を移し、サンクトペテルブルグ市主催の歓迎昼食会が開催された。

サンクトペテルブルグ市からは、グリゴリエフ対外関係委員長及びシャリト観光発展委員長が出席、大阪市会及び大阪市代表団、また大澤在サンクトペテルブルグ日本国総領事館首席領事、西澤大阪市立大学学長を交え、ロシア文化や防災対策などについて、昼食をとりつつ、リラックスした雰囲気の中、意見交換が行われた。

【グリゴリエフ対外関係委員長 挨拶要旨】

サンクトペテルブルグ市にお越しいただきありがとうございます。サンクトペテルブルグ市民はこの都市を誇りに思い、愛している。大阪市でも同様だろう。大阪市とサンクトペテルブルグ市は、ともに水の都として都市の印象も似ているが、そうした市民の心も似ているのではないかと思う。

これからの両市の姉妹都市としての友好、日本とロシアの友好を願う。

【村上副市長 挨拶要旨】

サンクトペテルブルグ市は、河川や運河に恵まれた歴史的・文化的な都市であることに大変感銘を受けた。学校訪問時には、学生との交流を通して、サンクトペテルブルグ市民に親しみを持った。共通点の多い両市間に親密な友情が深まり、友好関係がさらに発展することを祈念する。

【杉田副議長 挨拶要旨】

このような心温まるおもてなしでお迎えいただき心からお礼申しあげる。

これまで、大阪・サンクトペテルブルグ両市が積み重ねてきた交流が35周年という節目を迎えたことは誠に意義深く、ここサンクトペテルブルグでともにお祝いできることを大変嬉しく思う。これを機に両市の交流をますます緊密なものとし、日本とロシアの友好協力関係の発展に寄与していきたいと思う。

【意見交換概要】

ロシアでは地震はないが、ネヴァ川に面した都市であるので洪水が心配される。フィンランド湾からネヴァ川に向かって強い風が吹くときには、大波が来ることがある。ピョートル1世の時にも、そういった洪水に悩まされていた。現在は水門を設置し、サンクトペテルブルグの水位が上がらないようにしている。

ロシアではこういった昼食会の席等では、必ず女性のために乾杯することが恒例である。また、会の中でも事あるごとに乾杯をすることが多い。



昼食会の様子

エルミタージュ美術館視察

エルミタージュ美術館は、パリのルーブル美術館、ニューヨークのメトロポリタン美術館と並び世界三大美術館の1つとされる。冬宮、小エルミタージュ、旧エルミタージュ、新エルミタージュの建物から成り、部屋の総延長は27km、収蔵品は300万点以上に及ぶ。

ガイドの説明を受けながら、宝石や金細工が展示されている「黄金の間」をはじめ、エジプトのミイラや古代ギリシア・ローマの彫刻、レオナルド・



視察の様子

ダ・ヴィンチ、ミケランジェロ、ピカソ、ルノワール等ヨーロッパ美術の作品等を足早に鑑賞した。とても一日ですべてを鑑賞することは不可能で、ガイドの迷うと二度と出てこれないという説明もうなずける。

その展示品のみならず、建物自体が美術品のようであり、圧倒されるばかりだった。

姉妹都市提携 35 周年記念レセプション

サンクトペテルブルグ市を流れるネヴァ川を航行する船上で、サンクトペテルブルグ市主催の姉妹都市提携35周年レセプションが開催された。

行政や企業関係者等約50名が参加する中、マルコフ サンクトペテルブルグ市副知事、村上副市長、杉田副議長の挨拶が行われ、船上からサンクトペテルブルグの街並みを眺めつつ、サンクトペテルブルグ国立大学東洋学部のリビン部長からサンクトペテルブルグの歴史や文化について説明を受けた。



マルコフ副知事の挨拶

夜になりライトアップされたサンクトペテルブルグの街並みはより一層美しく、和やかな雰囲気の中、意見交換を行い今後の交流発展を願った。

【マルコフ副知事 挨拶要旨】

皆様の Санктペテルブルグ市訪問を心からうれしく思う。大阪市と Санктペテルブルグ市はともに「水の都」と呼ばれ、とても似た都市である。互いの都市が似ているということが、両市の関係にもよい影響を与えていると思う。本日の知事表敬での会談結果について、議事録に調印することができた。これを機に両市の友好関係がより強くなると期待している。

【村上副市長 挨拶要旨】

姉妹都市提携35周年を記念して、このように素晴らしい船上でのレセプションを開催いただき心より感謝申しあげる。

本日、議事録の調印を無事に終えることができ、大きな仕事ができたと満足している。

【杉田副議長 挨拶要旨】

これまで両市が積み重ねてきた交流が、姉妹都市提携35周年という節目を迎えたことは大変意義深く、このような記念レセプションがここ Санктペテルブルグの地で開催され、ともにお祝いできることは大変喜ばしい限りである。

私どもの訪問を機に、これまで培われてきた両市の友情の絆がより深く充実したものになると期待している。

9月26日（金）

姉妹都市提携 35 周年記念セミナー&ネットワーキングランチ

Санктペテルブルグ上下水道公社（ヴォドカナル社）の大会議室において開催された大阪市・ Санктペテルブルグ市共催の大阪の経済・上下水道施策を主なテーマとする姉妹都市提携35周年記念セミナーに参加した。両市の行政・企業関係者等、約70名の参加があった。

カルマジノフ ヴォドカナル社社長の出迎えを受けた後、会場に移動した。

セミナーでは、最初に村上副市長より、昨日両市の協力関係を強化する議事録に調印し、早速協力関係をセミナー共催という形にできたことを大変うれしく思う旨の挨拶があり、続いて、 Санктペテルブルグ市マルコフ副知事より、様々な分野で相互交流を進めることは重要で、本セミナーで大阪の取り組みを学び、意見交換する意義は大変大きいとの挨拶があった。また来賓の山村在 Санктペテルブルグ総領事より姉妹都市提携35周年に対する祝辞をいただいた。

セミナーでは、井上大阪市経済戦略局長が「大阪・関西の都市魅力、国際戦略特区の紹介」と題し、大阪・関西が強みをもつ健康・医療等のライフサイエンス分野、環境テクノロジー・新エネルギー等のグリーン分野における特区インセンティブや、水の都、食の都、大阪文化といった都市魅力を紹介し、大阪への投資、企業進出、観光

客来訪を呼びかけた。続いて、日本貿易振興機構（JETRO）サンクトペテルブルグ事務所の宮川事務所長から「対日投資促進への取り組みと日露ビジネスの連携」と題し、日露ビジネスの現状やJETROの取り組みが紹介された。

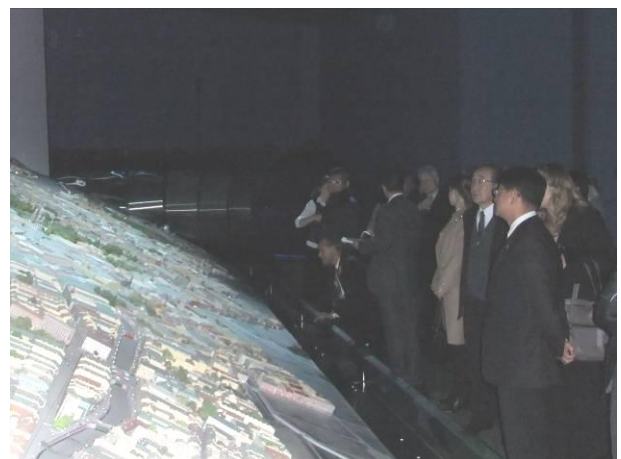
質疑応答では、大阪に進出するにあたっての規制緩和措置や税制優遇措置の有無、ビザの手続きについてなど活発に質問がなされ、大阪への関心の高さがうかがえた。

午前中のセミナーを以上で終え、ヴォドカナル社の広報施設を視察した。広報施設では、サンクトペテルブルグ市の上下水道の普及状況や、地下に埋められた排水管等の模型、水質検査状況などを視察した。水質検査では生きたザリガニにセンサーを付けて状況を観察するなど、その水質監視方法には驚かされた。

その後、セミナーに出席した両市の行政及び企業関係者等とのネットワーキングランチが行われ、意見交換を通じ交流を深めた。



セミナーの様子



ヴォドカナル社広報施設視察

サンクトペテルブルグ市議会表敬訪問

サンクトペテルブルグ市議会は議事堂としてマリインスキー宮殿を使用している。マリインスキー宮殿は、19世紀半ば、ニコライ1世がその娘マリアのために建てさせたものである。初めに建物や建物内部の説明を受けた後、サンクトペテルブルグ市議会のマカロフ議長を表敬訪問した。マカロフ議長、杉田副議長の挨拶の後、意見交換、覚書の受け取りと続き、表敬訪問は終了した。

【マカロフ議長 挨拶要旨】

皆様のご訪問を昨日から楽しみにしていた。



サンクトペテルブルグ市議会の前で

残念ながら私は大阪を訪れたことはないが、マルコフ副知事をはじめ、訪れたことのある者の話を聞くと、大阪市とサンクトペテルブルグ市はとても似ているのではないかと思う。ともに水の都であることもそうだが、人の心も似ていると思う。

サンクトペテルブルグ市では、約50社の日本企業が活躍している。50社というのはそんなに多い数ではなく、最近はや食ブームもあり、和食レストランの方が多いいである。私も世界の様々な都市を訪れたが、このサンクトペテルブルグ市はビジネスのプラットフォームとして大変よい都市だと思う。ぜひ大阪の投資家や企業にも進出していただきたい。



表敬・意見交換の様子

今回、姉妹都市提携35周年を迎えたが、日本とロシアの友好関係は実は300年にも及ぶと思う。本日の皆様のご訪問は、今回の35周年のイベントの中でもまさにメインになるものである。提携をより一層強化するための覚書を用意しているので、お持ち帰りいただき、ぜひ議長に調印をしていただきたい。

今年12月17日には、サンクトペテルブルグ市議会の設立20周年を迎える。議会として大阪市のご訪問を楽しみにして

いる。その時に調印もできれば幸いである。

今後とも末長くこの友好関係を続けていきたいと思う。

【杉田副議長 挨拶要旨】

本日は、マカロフ議長をはじめサンクトペテルブルグ市議会の皆様方とお会いできることを楽しみにしていた。

サンクトペテルブルグ市に来て、数々のおもてなしを受け、またいろいろな方々とお会いできたことに、感謝申しあげる。最後にこうして議会の代表であるマカロフ議長にお会いできたことを最高の栄誉と思う。

今回、姉妹都市提携35周年を記念して訪問させていただいたが、なお一層、大阪市・サンクトペテルブルグ市の中でも議会として関係を深め、永続的に付き合いをしていきたいと思う。

姉妹都市関係にあるこの35年間に、様々な先輩議員が訪問させていただいた。先輩議員は一様にサンクトペテルブルグ市はよい都市だと言っていた。

昨日、ポルタフチェンコ知事を表敬させていただいたほか、エルミタージュ美術館をはじめ数々の場所を訪問し、多数の皆様にお会いした。先輩議員が言っていたことが心からわかった。人情味がある、文化を大事にする、サンクトペテルブルグ市の人々の心が、大阪人にぴったりと合うのだと思う。昨日も昼食会にお招きにあずかり、ざ

つくばらんにお話ができただこと大変うれしく思う。

これからも、特に議会として、大阪市会とサンクトペテルブルグ市議会との間でより一層の関係を築いていきたいと思う。

表敬訪問後、本会議場等を視察し、毎週水曜日に議会が開かれることや、採決にはボタンによる自動集計投票制度を活用していることなどの説明を受けた。

その後、場所を移して昼食会を開催していただいた。昼食会では、和やかな雰囲気の中、サンクトペテルブルグの街並みとライトアップについて、ロシアでの教育について、ウクライナ紛争と日本との関わり方について等活発な意見交換が行われた。

【昼食会意見交換概要】

サンクトペテルブルグ市はユネスコの世界文化遺産にも指定されている美しい街並みである。景観を守っていくため建築には様々な規制があり、高さは40mまでと決められている。市民もこの景観を誇りに思っている。街並みのライトアップは主に市が行い、各企業にも協力をしていただいている。

ロシアでも教育については、つめこみ教育がよいのか、ゆとり教育がよいのかといった議論がなされている。現在ゆとり教育の方に向かいつつあるが、賛否両論あり、これからも議論していきたい。

国際問題については、プーチン大統領を信頼している。



サンクトペテルブルグ市議会議場



昼食会

マリンスキー劇場訪問

サンクトペテルブルグ市のご厚意により、ロシア文化を代表するバレエ公演にご招待いただきました。グリゴリエフ対外関係委員長とともに、マリンスキー劇場においてバレエ「白鳥の湖」を鑑賞した。

マリンスキー劇場は1860年に完成し、モスクワのボリショイ劇場と並ぶロシア音楽・バレエの拠点として活動を続けている。



グリゴリエフ対外委員長とともにバレエ鑑賞

この日はちょうど「白鳥の湖」公演の初日であり、劇場は超満員だった。バレエ鑑賞ははじめてであったが、その躍動感や繊細さに魅了され、公演時間の3時間もあっという間だった。

おわりに

今回、友好都市提携25周年を記念してハンブルク市を、姉妹都市提携35周年を記念してサンクトペテルブルグ市を訪問したが、現地でのスケジュールが実質2日ずつという短期間であったものの、行く先々で温かいおもてなしを受け、様々な方々とお会いできたことはまことに意義深いものであった。

議会表敬では両都市の議会状況などをうかがい、議会や議員のあり方などについて改めて考えさせられたとともに、経済交流や文化交流では、最前線を走る民間企業や交流を支えていただく人々への行政としてのバックアップの必要性を再認識した。文化施設等の視察においては都市格というものの大切さも痛感した次第である。

訪問先での表敬や意見交換を通じ、これまでの友好関係を再確認するとともに、これからの友好関係の深化にいささかなりとも役割を果たせたのではないかと思う。

最後に、今回の海外出張に際し、事前の準備及び現地での案内、随行等でお世話になったハンブルク市、サンクトペテルブルグ市、大阪市の関係者の皆様に心からお礼申しあげる。